

【グローバル人材の育成】

- (1) 別添の資料から、グローバル社会で活躍できる若者を東京から輩出するために、あなたが重要であると考え課題を 200 字程度で簡潔に述べよ。
- (2) (1) で述べた課題に対し、都はどのような取組みを進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

【答案例】

(1) 課題

近年、グローバル化の進行により、わが国においてもグローバル人材の育成が求められている。しかし、資料 1 の、令和 3 年度に文部科学省が実施した「英語教育実施状況調査」によると、中学生・高校生ともに、CEFR の目標レベルを達成している者の割合は 50%未滿とされる。また、資料 2 からは、環境問題などの国際的な課題に対し、日本の若者の関心が低下している事実が読み取れる。以上から、グローバル社会で活躍できる若者を東京から輩出するために重要となる課題は、「実践的な英語力の向上」と「若者の国際課題に対する意識の醸成」の 2 点であると考え。

(2) 都のなすべき取組み

第 1 に取り組むべき課題は、「実践的な英語力の向上」である。従来わが国の英語教育は、英単語や文法を机上で学習することが中心であり、外国人との交流機会は少なく、「生きた英語」を学ぶ事は難しい状況にあった。また、従来から日本人は、自分の考えを「相手に伝える能力」が不足しているといわれており、こうした状況を放置すると、グローバルに活躍できる人材を輩出することは困難である。そこで都は、幼少期から、コミュニケーション中心の英語教育を導入することが必要である。この点に関し、現在、都は、若者と外国人の交流機会を増やすべく、「英語村」(TOKYO GLOBAL GATEWAY)の事業に取り組んでいる。これは、小中高の生徒が英語しか使えない環境に身を置き、外国人との交流を通して「生きた英語」を習得するという取組みである。また、多様な文化・価値観を持つ世界中の人々とコミュニケーションがとれるため、自分の意見を「伝える能力」も向上させることができる。都は、この事業を着実に進めることで、国際社会で活躍できる人材を育成していくべきである。

また、実践的な英語力を向上させるには、海外留学の機会は極めて重要である。そのため、都は、若者の海外留学を積極的に支援していくべきである。この点に